

## 令和3年度 教育経営研修閉講式 教育長挨拶

令和3年11月12日(金) 15:50~16:15  
教育研究所 5階 研修ホール

皆さん、こんにちは。教育長の細田でございます。令和3年度の教育経営研修の閉講に当たり、一言挨拶を申し上げます。

まずは、新型コロナウイルス感染症について、適切に対応をいただきながら、日々の教育活動に取り組んでいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

2学期当初の緊急事態宣言下におきましては、「子どもたちの学びを止めない」という学校教育の責務を果たすために、ハイブリッド授業を展開してまいりました。まさに、前例のない状況ではありましたが、「さいたま市GIGAスクール構想」の目指すICTを活用した学びの改革に向け、大きな一歩を踏み出すことができたと確信しています。そして、このことについて本研修で学ばれた皆さんは、所属校において、学校運営の推進者として、御尽力いただいたことと思います。重ねて感謝申し上げます。

さて、それぞれの所属校の校長先生から推薦を受け、各校を代表する教育のプロフェッショナルとして受講された全8回の教育経営研修が、本日で終了いたします。皆さんは、この閉講式をどのような気持ちで迎えられたのでしょうか。本研修では、さいたま市教育の将来を担うリーダーの育成を目的とし、大学教授をはじめ、民間企業役員、教育委員等、幅広い知識を有した講師の方々をお招きし、御指導いただきました。講義や演習においては、校種等のバックグラウンドを越境し、既存知をオープンシェアしながらリーダーとしての素養をより豊かにされたことと思います。

皆さんの表情からも、学校教育に関する理論と方法についてより深く理解することで、学校運営の推進者としての自覚を高められたことが伺えます。

現在、我が国では、「令和の日本型学校教育」を担う新たな教師の学びの姿について議論がなされております。「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び」の実現に向け、教師の学びの在り方さえも見直し、VUCAの時代を生き抜く力を育むための教育の変革は、絶え間なく進められております。

本市においても、「さいたま市GIGAスクール構想」の取組を通して、「学び」を次のステージへとさらに進化させる挑戦を続けております。例えば、「さいたまSTEAMS教育」、「さいたまSDGs教育」など教科横断型の探究的な学びを推進し、実社会での課題解決に生かしていく力を育むことができる協働的、探究的な学びの環境の構築を目指しているところです。

そして、このような大きな教育の変革を進める上で、忘れてはならないことがあります。それは、教育の在り方の第一義に、「子どもたちのwell being」の達成が語られるべきであるということです。今後、本研修を受講された皆さんには、さいたま市教育の推進者として、イニシアチブと熱意をもったリーダーとなり、「子どもたちのwell being」のために御活躍されますことを期待しております。

結びになりますが、本研修への参加について御配慮くださった校長先生をはじめとする多くの方々への感謝の気持ちを忘れずに、本研修で学び合った仲間とのつながりを大切にしながら、さいたま市教育を担うリーダーとして、力を存分に発揮してください。

皆さんと管理職としての矜持を分かち合える日が来ることを楽しみにしております。

令和3年11月12日

さいたま市教育委員会 教育長 細田 眞由美